

2 もくじ／今月のイチオシ！

3 特集 救急の日
つなぐ命のリレー
～あなたにもできる心肺蘇生法～

6 暑さを吹き飛ばせ！
第8回 納涼祭流し踊り大会

8 すくーらいふ（竜北西部小学校）

10 第8回 町民体育祭夏季大会
猛暑に負けない熱戦！

11 まちのトピックス！
交通安全子供自転車熊本県大会／氷川町ふれあい卓球大会／吉野果実選果場で吉野梨初選果／氷川町子ども会球技大会／全国大会出場選手激励会／中体連大会激励会／東網道地区でEMだんご講習会／秋山監督応援ツアー／氷川町長寿表彰

14 9月カレンダー
行事予定表／休日在宅医／まちへのホットライン／休日救急歯科診療

16 けんこうだより

17 こころの健康コーナー／認知症キャラバンメイトだより

18 下水道 水が笑顔になれる道
9月10日は「下水道の日」です

19 ひかわスポーツクラブたより！！

20 立神峽里地公園だより

21 町民文芸

22 暮らしの情報

27 伝言板／ひとのうごき

28 ひかわっ子写真館／有佐駅前団地入居者募集／編集後記

今月のイチオシ！



流しそめんにチャレンジ
町内小学生が流しそめんを体験
8月2日、立神峽里地公園において、町内の小学生31人が流しそめんを体験しました。
これは、ひかわスポーツクラブが主催するサマーチャレンジスクールの活動の一つで、児童たちは、大人たちの協力を受けながら、小刀やのこぎりを上手に使用して竹を切り出し、組み上げて、約2時間を掛けて流しそめん台を造り上げました。
いよいよ、そめんを流す時になると、児童たちは楽しみにしていた様子で、冷たいそめんを夢中で食べていました。
ひかわスポーツクラブマネージャーの齋藤さんに話を聞くと、「子どもたちいろいろな経験をさせたいと考えています。これからも続けていきたいです。」と話されました。



▲箸や器も作りました



▲完成した流しそめん台

特集 救急の日

つなぐ命のリレー

～あなたにもできる心肺蘇生法～

氷川町の救急活動の現状

平成24年の氷川町における救急車の出動件数は532件、搬送人員は511人です。
これは、1日あたり約1.4件の出動となり、毎日1件は救急車が出動している計算となります。

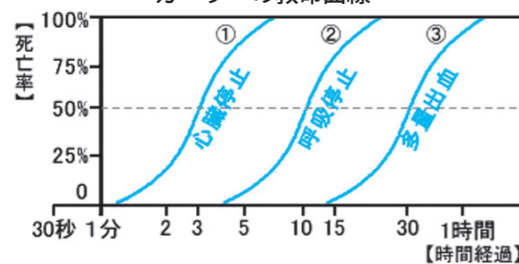
私たちにとって、救急現場に居合わせることは、珍しくないことであると言えます。

迅速な対応が命を救う

下のグラフは心臓停止、呼吸停止、多量出血の状態となったときの時間経過と死亡率の関係を示したものです。

もしも傷病者に何も救命手当てが行われなかった場合、心臓停止後約3分、呼吸停止後約10分、多量出血後約30分で死亡率は50%を超えます。

カーラーの救命曲線



- ① 心臓停止後、約3分で50%死亡
- ② 呼吸停止後、約10分で50%死亡
- ③ 多量出血後、約30分で50%死亡

お母さんも「救急Gメン」。
救急業務と救急医療について皆さんに正しく認識してもらいたいという願いを込めて、この日は定められました。
私たちはいつどんなときに救急の現場に居合わせることになるかわかりません。いざというときに、大切な命を守るためにどのようなことができるのでしょうか。
今月は救急医療について学んでみましょう。

救急車の現場への到着時間は平均8・2分(全国平均)掛かり、救急車が到着するまでに現場に居合わせた人が、どれだけ早く救命手当てを行うことができるかが、傷病者の救命率を大きく左右するのです。

